

年度評価シート（令和4年度）

課名 障害福祉企画課

施設の名称 静岡市清水なぎさホーム 静岡市清水ひびきワーク 静岡市清水うしおワーク 静岡市清水うなばら学園	指定管理者名 社会福祉法人 静岡市しみず社会福祉事業団				
1 履行状況					
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。					
(1) 維持管理業務					
①健康診断、医療管理業務					
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の体重測定に加え、年1回の定期健康診断、結核検診等を実施し、利用者の健康管理が適正に行われている。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、施設利用時に検温及び体調確認を行っている。 					
②危機管理、防災対策					
<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルに則り、総合防災訓練、宿泊型防災訓練及び事業所単位での訓練を実施し、利用者の安全確保に努めている。 ・安否コールシステムにより非常時の連絡体制を確保している。 ・施設で発生したヒヤリハット事例の集積と検証により、事故の未然防止に努めている。 					
③建物・設備等の保守管理業務					
<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による保守・管理等の業務が適切に実施されている。 ・老朽化等に伴う設備修繕や安全対策として随時修繕を実施している。 					
(2) 施設利用者数					
施設名	定員	年度	契約者数	開所日数	利用延人数
なぎさホーム	20人	R 3	13人	266日	2,922人
		R 4	14人	268日	2,812人
ひびきワーク	20人	R 3	14人	267日	2,644人
		R 4	14人	267日	2,475人
うしおワーク (生活介護)	30人	R 3	30人	267日	7,389人
		R 4	28人	268日	6,386人
うしおワーク (就労B)	20人	R 3	19人	268日	4,527人
		R 4	20人	268日	4,615人
うなばら学園	60人	R 3	52人	267日	11,585人
		R 4	47人	267日	10,386人
※利用者減の要因					

①なぎさホーム

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の欠席

②ひびきワーク

利用者都合による利用者の欠席

③うしおワーク

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の欠席

④うなばら学園

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の欠席及び利用者都合による契約者数の減

(3) 事業実施状況

①施設運営関係

- ・利用者の施設利用等に係る各種手続が適正に行われている。
- ・個別支援計画に基づき、個々に合った支援がなされている。
- ・各施設の情報紙や連絡ノート、保護者懇談会、個別面談等を通して、利用者とその保護者との連携、連絡調整を図っている。
- ・施設内の消毒を定期的実施するなど新型コロナウイルス感染症対策に努めている。

②利用者支援関係

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた外出活動行事を中止したのもあったが、施設内の行事に切り替えるなどの工夫を図り、利用者の支援に努めている。
- ・清水病院と連携し、利用者への新型コロナウイルスワクチンの接種を行った。
- ・個別送迎や土曜開所、ライフサポート事業を実施し家庭の介護軽減を図っている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

利用者からの苦情・要望等については、随時受付し、対応及び今後の再発防止に向けた取組みを行っている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 市民アンケート

本施設は、重度の障がいのある人が通所して訓練等を受ける施設であるため、利用者が限定されており、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。

(2) 利用者満足度調査

施設利用者に対して年1回満足度調査を行っている。満足度はなぎさホーム：91.0%、ひびきワーク：82.5%、うしおワーク81.8%、うなばら学園81.4%であり全施設において8割以上の満足度であった。

障がいの特性上マスクを付けることが困難な利用者が多く、そのことで感染症対策に不安を感じる保護者が多い。保護者への丁寧な説明、消毒、換気などの感染症対策は実施されているため、引き続き、適切な感染症対策により保護者の不安軽減に努められたい。

4 指定管理者の経理状況の評価

収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、ひびきワー

クを除く3施設においては黒字となっている。ひびきワークについては、利用者都合による利用者数の減少に伴い収入が減少しており、新規利用者の確保が求められる。

支出については、指定管理団体全体でコピー用紙の集中管理、公用車における燃料費給油に係る提携業者の見直し等を行い、経費削減に努めている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた事業を変更することとなったが、感染防止対策を図りながら工夫を凝らした事業が実施されており、良好な結果であった。

施設の保守・点検等も必要な維持管理が適宜なされており、職員研修においては多様な研修が実施された。

利用者満足度調査からも利用者との良好な関係がうかがえる。今後も利用者の意見等を随時取り入れ、引き続き良好な施設運営を維持していくよう努めていただきたい。

財務面については、新型コロナウイルス感染症の影響を除けば概ね予算通りの施行となり、概ね健全な状態であるものの、一部の施設で利用者の確保に苦慮している様子がうかがえる。引き続き利用者の確保に向け特別支援学校等との連携を図り、実習生の受け入れを実施していただくとともに、要望の多い医療的ケアへ、強度行動障がいの対応など利用者の特性・ニーズに応じた対応を進めていただきたい。

また、利用者の確保にあたっては、各施設で実施するサービス内容の見直しが課題になっていることから、今後実施するサービス内容の検討について市と協議を進められたい。